

vol.
124
2024
Summer

市民活動情報誌

おうみネット

Collaboration Paper
for Voluntary Network in Ohmi

人と地域をつなぐ
ネットワーク

〔特集〕
こんにちは。
淡海ネットワークセンターです。

淡海ネットワーク
センター

▶ご紹介はP2

Contents

- [特集] こんにちは。淡海ネットワークセンターです。 P2~4
- 人と地域とつながる事業所さん P5
- VIVA! 日々是好日! P5
- 市民活動レポート P6~7
- 未来塾17期生の虫の目・鳥の目・魚の目 P7
- 応援インフォメーション P8



Ohmi Network Center

淡海ネットワークセンター

公益財団法人 淡海文化振興財団

<https://ohmi-net.com/>



特集

未来に-向かって-つなげる-つづける

こんにちは。淡海ネットワークセンターです。

みなさんにこの『おうみネット』を届けております、私たち「淡海ネットワークセンター」。どんなところかご存知でしょうか？名前は聞くけど、何をしているところ？よく知らないなあ。といった声が聞こえてきそうですが…いかがでしょう？

私たち淡海ネットワークセンターは、「ひろがる つながる ながれをつくる」を合言葉に、地域の魅力を高めたり、課題解決に取り組む市民活動団体を様々なかたちで支援させていただいています。この機会に私たちのことを少しでも知っていただけると幸いです。

■設立は1997年。その背景には

淡海ネットワークセンターが設立されたのは1997年。その2年前、1995年に阪神淡路大震災が発生しました。このとき、延べ130万人のボランティアが活躍したと言われており、被災地でのボランティア活動が改めて社会的に注目されました。そして、1998年に日本で初めての市民活動を支える法律、『特定非営利活動促進法（NPO法）』が成立。このようにセンター設立前後には市民活動を取りまく状況に大きな変化がありました。

NPO法成立以降、数多くのNPO法人が立ち上がりますが、滋賀県はもともと市民活動が活発であり、県民が主体となって地域づくりや、環境、福祉、文化など様々な活動が行われていました。こうした活動は、地域社会に大きな活力をもたらす大切な原動力。そこで、淡海ネットワークセンターは、より積極的に市民活動を支援するために、①地域づくりの基盤「人づくり」としての「おうみ未来塾」、②地域への『想い』を込めた寄付金を市民活動団体へ助成金で支援する「未来ファンドおうみ」、③相談や組織の運営のサポート、④市民活動にかかわる様々な情報発信、⑤多様なネットワーク作りの支援、の5つの

事業を柱に現在に至ります。

時代を重ね、新たな社会状況、構造のもとで、生きづらさを感じたり、価値観の変化にとまどうことも多いなか、その時々ニーズにあった事業を実施するよう心がけていますが、基本は、「ひろがる、つながる、ながれをつくる」の合言葉を大切にしています。

社会情勢の変化に目を向けながら、様々な人・組織・団体のネットワークがひろがり、つながることで、滋賀の人を、市民活動を、地域を元気にするながれをつくる、そういった取り組みが進むよう頑張りたいと思っています。

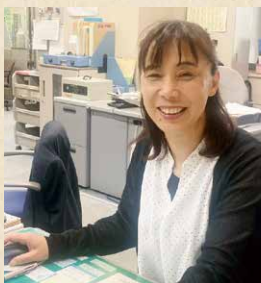
ちなみに、淡海ネットワークセンターは正式な名称ではなく、「公益財団法人淡海文化振興財団」の愛称。みなさんに気軽に呼んでいただきたく、普段から愛称でご挨拶させていただいています！どうぞ、「淡海ネットワークセンター」で覚えてくださいね。

それでは詳しく事業をスタッフと共にご紹介していきます。私たちが目指すのは様々なネットワークづくり！

地域のつながりをつくる 人材育成【おうみ未来塾】

おうみ未来塾は、創造力とネットワークを駆使して地域課題解決に取り組む「地域プロデューサー」が育つ塾として、1999年の開塾以来、多くの人材を輩出し、現在17期目です。16ヶ月間を通して前期は、現地で学ぶフィールドワークと講座、後期はグループに分かれての実践活動がカリキュラムとして組まれています。全体を通して、「地域の現場でしか学べないことがある」を大切に、「教わる」のではなく「自ら育つ」をモットーに事業を展開しています。

- 業務で心がけていること
自分も楽しむ、コミュニケーションを大切にする
- 特技&好きな食べ物
特技：ヨガ、料理
好きな食べ物：ステーキ



担当者：北川ゆう子

地域への想いをつなげる 助成事業【未来ファンドおうみ】

「未来ファンドおうみ」助成事業は、おたがいさまがつながり、支えあい、志が活きる地域社会となることを目指しています。

地域の活動を応援（支援）したいという市民や企業の「想い」を寄付としてお預かりし、助成金として市民活動へつなげることや、『おうみ良うなる!元気商品プロジェクト』は、対象商品の売上の一部が「びわ湖の日基金」に寄付される仕組みを作るなど、民が民を支えるお金の流れを創っています。

- 業務で心がけていること
オープンハートと笑いを。
- 特技&好きな食べ物
特技：箏、三味線
好きな食べ物：お団子、おいなりさん



担当者：辻 ゆかり

市民活動に役立つ情報をひろげる 【情報提供・発信】

「どんな取り組みがあるのかな」「助成金を活動資金に利用したい」など、市民活動に関する様々な情報を収集し提供しています。年に3回発行している情報交流誌『おうみネット』は、県内約1,600ヶ所に配布し、「現場の声」を大切に、想いも一緒にお届けできるような紙面づくりを心がけています。また、ホームページは情報提供のプラットフォームとし、メールマガジンやソーシャルネットワークワーキングサービス（SNS）を使い様々な角度からも発信しています。

- 業務で心がけていること
そこに込められた「思い」や「背景」を大切にする
- 特技&好きな食べ物
特技：異国の方に英語で話しかけること
好きな食べ物：鮎ずし



担当者：稲葉さゆり

市民活動をひろげる一歩 【淡海ネットワークセンターで出来ること】

市民活動団体等のミーティングや交流のために無料でご利用いただけるフリースペース“ふらっとルーム”や、会報やチラシづくり、またポスターが作成できる大判プリンターなどの機器を設置。（※一部有料、営利目的のものはお断りしています。）

また、市民活動の運営やまちづくりなどに役立つ図書の貸し出し、チラシや資料の掲示板や配布台を設置し、ご希望があれば配架しています。どんどんご利用ください！

- 業務で心がけていること
笑顔で対応を心がけ、機器等の使い方はわかりやすいように。配布、掲示などは工夫を凝らしています。
- 特技&好きな食べ物
特技：整理整頓
好きな食べ物：お寿司



担当者：辻 美穂

組織運営をサポートし、つなげる 【相談事業・NPOサポート】

法人設立の手続きから、新しく事業を広げたいなどご相談ください。気軽に相談できる関係性を大事にしています。また、組織を運営するための様々なサポートも提供しています。

- ◆相談業務
「何かやってみたい」「NPO法人になるには？」など、設立から団体の運営、資金調達など組織運営全般、ちょっとした困りごとの相談を受け付けています。一緒に考えましょう。
- ◆NPO講座・NPOサポート
組織の会計・決算講座など、組織を運営するためのノウハウを学ぶ場を提供しています。また、助成事業の採択団体へのサポート体制を整えています。

さまざまなネットワークをひろげる 【市民活動支援】

- ◆市民活動フォーラム
団体同士はもちろん、住民や企業、行政との出会い・交流（連携）の場として毎回プログラムを工夫し開催しています。
- ◆中間支援組織等意見交換会
中間支援センター等のネットワークづくり、スキルアップを目指し、よりよい市民活動の支援のために開催しています。
- ◆ふらっとサロン
小さな交流、小さなチャレンジの場として、淡海ネットワークセンターのフリースペース・ふらっとルームで開催しています。内容は幅広く、自由な雰囲気で開催しています。

■ひろがる つながる ながれをつくる

ご紹介した様々な事業やセミナーへ一度参加してみませんか？

未来ファンドおうみの助成金やセンターで出来る事を、あなたの活動に、大いにご活用ください！おうみ未来塾、気になりませんか？入塾して市民活動へのきっかけをつくったり、今の活動を広げてみてはいかがでしょうか？熱心に活動するあの人は、実は卒塾生かもしれませんよ。いずれにしても、センターのフィールドは滋賀県全体！ぜひ、淡海ネットワークセンターとかかわりを作っていただき、一緒に滋賀の市民活動を盛り上げ、新しい活動のながれをつくっていきませんか。



■私たちのチームが目指すのは。

センター全体をとりまとめる、南圭子事務局長と原田久明事務局次長。それぞれの立場から淡海ネットワークセンターを語ります。

■私たちの淡海ネットワークセンターとは

地域の個性や魅力を高めたり、暮らしをよりよくするための活動、地域や社会の課題解決に自主的に取り組むNPO（民間非営利組織）・市民活動を支援しています。

■センターの目指すべき姿は？

滋賀の地域を元気にするために、市民、団体、企業、行政などが力を出し合って取り組んでいけるよう、一緒に考え行動できるセンター、地域の皆さんから頼られるセンターを目指したいです。

■スタッフに期待する事

事務所の机の前であれこれ考えるより、とにかく地域に出向いて、現場の声を聴きながら専門性を高めてほしいと思います。

■気持ちの切り替え方法

緩い山歩きが最高。鳥のさえずり、せせらぎの音、自然の風に吹かれてリフレッシュします。野外でいただくホットコーヒーは格別です。



事務局長：南 圭子

■私たちの淡海ネットワークセンターとは

県域の中間支援団体として、県内のNPOさんや市民団体さんへ有形・無形の絶え間ない支援を行う団体とならなければいけないと考えています。

■センターの目指すべき姿は？

企業・団体などあらゆる組織間のニーズを捉え、「つながり」をサポート出来る情報の拠点になりたいと考えています。

■スタッフに期待する事

社会情勢が変化する中、新たな業務にも果敢にトライする意欲を持ってほしいと思っています。

■気持ちの切り替え方法

まずは「寝ること」。考えるよりひとまず寝て、リフレッシュした気持ちで考えを再思考しています。たまに、庭いじりで汗も流すようにしています。



事務局次長：原田久明

■これからの淡海ネットワークセンター

NPO法が設立し25年が経ち、市民活動も大きな転換期を迎えています。特に新型コロナウイルスの感染拡大を経て、価値観、働き方、ライフスタイルが大きく変化し、「地方」や自分たちの「地域」に目を向ける人も多くなったのではないのでしょうか。

「地域を良くしたい。」この想いは、小さな地域の活動から、地域が抱える課題を住民が主体となってビジネスで解決に取り組むコミュニティビジネスも数多く生まれています。

このような状況のなかで淡海ネットワークセンターの果たす

役割は、やはり「ひろがる つながる ながれをつくる」こと。

「地域を良くしたい。」という想いをを持った様々な立場の人たち、組織をつなげ、ひろげ、ながれをつくる循環と、課題にチャレンジできる基盤を創ることだと考えます。

活動を応援する人も、される人も、お互いが「地域をつくる仲間」として、そこに淡海ネットワークセンターも仲間の一員としてかかわっていきたくて思っていますので、どうぞ、私たち淡海ネットワークセンターをこれからもよろしくお願いします！



「甲西陸運株式会社」

進化する企業!新たな発想でチャレンジ!

甲西陸運といえば、「運送会社」と多くの方が思い浮かぶのではないのでしょうか?実は、SDGsの一環として2023年からアグリ事業に取り組み、「菌床きくらげ栽培・加工」や「HAT農園」など新しい事業を通じて地域の活性化に貢献されています。

今回、お話を伺ったのはアグリ事業を統括されている専務取締役の松嶋真行さんと取締役部長の中林裕貴さん。西日本最大級のきくらげ栽培・加工施設を設立し、安心・安全にこだわった“無農薬”&“純国産”の菌床きくらげ（愛称：ニンニンきくらげ）を栽培・加工しておられます。菌床きくらげは、“純国産”がたった3%しかないという希少価値が高いものです。また、滋賀県で唯一の『ノウフク事業所』に認証されました!「HAT農園」では、農業体験を始めとする観光型農園の運営を目指し、季節野菜や果物の水耕栽培をされています。小さな敷地であっても、通常、季節ごとにしかとれない野菜が一年中とれるという理想のニーズに応えました。「土を耕し作るところからでは、多大な労力がかかる…しかし、水耕栽培なら手軽にできるのでは?」とご自身の農業経験を活かした発想から、「コンパクトにできる農業」を目指したという松嶋さん。農園で採れた安全な新鮮野菜を地元のレストランや料理店に卸しておられます。HAT施設内

には、「ハット・キッチン&和みや」があり、陽だまりのような雰囲気の中で、採れたての新鮮野菜をふんだんに使ったランチが食べられます。「うわ〜おい〜い」味・ボリュームともに絶品!店内で買える地元こだわり商品の『きくらげの佃煮』、「私は山椒味が好きです!」とイチオシの中林さん。農園やレストランでは、スタッフの皆さんの「笑顔の花」がイキイキと咲いていました。

地元で作った安心・安全な新鮮野菜を地元のレストランや商店で販売し、そのまま消費する、そして、そこには、新たな需要や雇用が生まれ、それが働きがいや生きがいにも繋がっています。「人と自然を繋ぎ、地域ぐるみでSDGsを循環させていく」地域を元気にする新しい仕組み作りにより、益々期待が集まっています。



- 創業/1965年1月19日 ●代表者/甲斐切 稔
- 所在地/滋賀県湖南市柑子袋278
- <https://kohriku.com/>
- 未来ファンドおうみ「びわ湖の日基金」にご寄付いただいています。



Vol.1

近江で羽ばたく女性たち。

近江で羽ばたく女性たち、草分けはもちろん紫式部。

紫式部は、石山寺から湖面に映える満月を見て「今宵は一五夜なりけり」と書き出したと伝えられています。当時の女性作家に大人気だったのが石山詣で。彼女たちは、長い髪を束ね十二単や袴を纏い都から山科、逢坂峠、打出浜へと牛車や船で移動し、そして石山寺へ到着、何とも大層なことですね。それでも人気があったのは熱い観音信仰、更に盆地の京都には無い周囲の連山と琵琶湖の景観に魅かれたのではないのでしょうか?

千年以上も前、男社会の宮中で不利な立場に置かれて働く女性たちが、文学者として開花し多くの作品を後世に送り出したのですから素晴らしい事です。そしてその流れは現在の近江で眩しく光る幸田真音、凧良ゆう、宮島未奈諸氏たちへと引き継がれているように思えます。

(寄稿:しなやかシニアの会 佐藤明子さん)

今号より1年間『VIVA!日々是好日!』として滋賀、近江の文学などにまつわるコラムを連載します。大津市で活動されている“しなやかシニアの会”さんのメンバーがリレーコラムで繋がります。



Profile しなやかシニアの会

幾つになっても学び、夢を持ち、元気で輝き続けられるように積極的に、楽しく、充実したシニアライフを送ることを目指し幅広く活動中。町家を拠点とし、会員で運営するカフェ「リュエルしなやか」も併せて運営。活動のなかで最近では、近江に伝わる平家物語の研究や、やまと言葉の歴史など文学に関する学びも深めている。

●<http://shinayakaseniior.life.coocon.jp/>

環境学習

身近なものから
自然エネルギーを感じよう!

我々のサークルは2017年9月に結成しました。メンバーは5名で、全員が70歳以上のシニアです。活動は、自然エネルギーや環境に子どもの頃から関心を向けてもらいたいと、県内外のイベントや小学校に行き、ワークショップで実験や工作をおこなう体験してもらっています。今までに、ミニ水力発電器や風力発電器を作ったり、家庭にあるアルミホイルや炭で電池を作ってLEDを灯たり、ミニオルゴールを鳴らしたり、と子どもに興味を抱くよう工夫してきました。また、子どもに内容を解りやすくするため、最初にメンバーの小山孝子さんが紙芝居で、面白おかしく説明し、その後にキットを用いた自然エネルギーの紹介、実験や工作をおこなう、という流れにしています。

いままで取り組んできて、残念に思うことの一つは、子どもの親御さんが子どもだけをイベント会場に残して立ち去る方があることです。我々としては御子さんと一緒に体験して、楽しんでもらいたいのですが、一緒に参加した親は、大半の方が自然エネルギーや環境について理解を深められたという印象を我々は感じました。あと、我々のサークルメンバー全員が70歳以上のシニアで、メンバーに60歳代の方も入ってもらいたいですね。

これからの活動としては、小学校の出前授業として現在、私の近くの小学校のみでおこなっていますが、もっと広く滋賀県全域にも足を延ばせたら良いと思っています。そしてそれらの地域で、もっと自然エネルギー利用などが広がり、石炭や石油等の化石燃料からの温室効果ガスの減少による地球温暖化の抑制に繋がれば有難いと思っています。

最後に、びわこ環境サークルのホームページを記しておきます。関心のある方は見て頂ければ幸いです。

<https://biwako-k.jimdofree.com/>
【寄稿】青木豊明さん



2024年度笑顔あふれるコープしが基金採択団体

びわこ環境サークル

●代表／青木豊明 ●設立／2017年

高齢者支援

未来へつなぐ
実証実験!

(一社)やす地域共生社会推進協会が『野洲市通所介護施設共同送迎サービス(愛称:ゴイッショ)』と『高齢者移動支援モデル事業(愛称:つれだし隊)』の実証実験をされました!『ゴイッショ』とは複数の通所介護施設に通う利用者を共同で送迎するサービスです。『つれだし隊』とは送迎サービスの合間に送迎用車両を活用して移動手段にお困りの高齢者に対し移動支援をするサービスです。では、どのようなきっかけで生まれた事業なのでしょう?理事長川口ひとみさんとIoTを活用したまちづくりの専門家井上昌宏さんにお聞きしました。野洲市にある近江富士団地は、50年前にできた新興住宅地、今では独居高齢者が増え、今日の日本が抱える課題を反映しています。この団地をモデルに、高齢者を元気にし安心して住めるまちづくりを目指し活動をされたところ、野洲市からの公募とダイハツ工業(株)が企画する移動支援とのマッチングから生まれた官民連携の事業です。

介護現場の人材不足を助けるゴットハンド『ゴイッショ』は、「介護スタッフから負担軽減と合理的な運行が叶うとの声があがっている」と井上さん。

また『つれだし隊』は、川口さんの「高齢になってもお化粧をして、ベアリングを着たり買い物を楽しんだり、カラオケで歌ったりと、“魂が喜ぶ気持ち”を大切にしたい。その喜びが埋もれるのはもったいない!活かしてあげたい!」という熱い思いが込められています。利用者からは、自立心だけでなく会話も生まれているそうです。

「まだまだこれは入り口!ここから見えるものを魅せていきたい」と川口さん。この事業に心寄り添い応援し合うことで“繋がり”ができ、そこから“未来へ繋げる人”を増やすことも私達の役割と語って下さいました。野洲で『ゴイッショ』と『つれだし隊』を成功させ、モデル事業として全国から野洲に視察に来ていただきたい!と意気込みを見せておられるお二人。実現はすぐそこに…先駆けとなる成功事例を目指す(一社)やす地域共生社会推進協会さんでした。

(一社)やす地域共生社会推進協会

●理事長／川口ひとみ ●設立／2018年12月5日
●所在地／滋賀県野洲市北野1丁目9番18号チアハウスビル4階(ココロ)
●<https://oslead.wixsite.com/yasuchikyou>

地域の居場所

ここに安心がある 「やさしい地域づくり」



「まるで自宅のような高齢者が集まれる場所を作ってほしい」という地域の方々の声がかたちになった『宅老所 心』、ここは皆がいつでも安心して集まれる居場所です。お話をお聞きしたのは、理事長の村田美穂子さん。以前は介護職に従事され、「天性かというくらい楽しくて仕方がなかった」と話す村田さん。かやぶき屋根の生家を宅老所に改築、「天井部分は昔のまま。この低さが当時を思い出し、懐かしむことができます」と目を細めておられました。この味わいのあるかやぶき屋根の下で、“助け合いと居場所”を軸にピア活動をされています。市からの情報やアンケートの意見から「こんなものがあたらいいよね」を実現。『かやぶきランチ』もそのひとつ、いきいき百歳体操帰りの高齢者がランチを楽しんだり、「認知症の人と家族の会」が相談やリフレッシュの場として活用されています。ちょっと珍しい『地域居酒屋』は月2回、地域の大人の夜の居場所を開かれています。地域の方の手作り料理を皆で囲むことで交流が深まり、仲間が増え、誘い合ってボランティア活動に参加されるようになったりと地域活動の活性化にも繋がっています。そして『楽しい放課後 心(こども食堂)』は、子ども達にとって見守られて安心できる居場所になっており、大人と触れ合う大切な時間を作っています。他にも地域の困りごとは『お助け隊』で助け合います。高齢者や障がい者の通院や買い物の付き添いのニーズが高いそうです。自分でほしいものを選んだり買ったりできるのって素敵ですよ!『宅老所 心』ではそんな素敵も提供されています。そして、生活全般の困りごとを解決したり、行政や関係機関に繋ぐのが『ちょっと安心相談所』。「私たちは地域づくりの黒子。ハザマ・ハザマで困っている人が多い。最後まで住みやすい地域にしたいですからね」と村田さん。最後に「『宅老所 心』の活動を通して、地域の変化は?」と質問すると、「地域が優しくなりました」と答えてくださいました。地域にとって『宅老所 心』が“くらしと生きがいを支える”大切な存在なのだ実感する取材でした。

特定非営利活動法人 宅老所心

- 理事長/村田美穂子 ●設立/2003年11月22日
- 所在地/滋賀県草津市駒井沢町343番地
- <https://takurou-kokoro.com/>

Challenger



未来塾17期生の

虫の目・鳥の目・魚の目

ただ今、おうみ未来塾17期生は4つのグループに分かれて活動中です!

それぞれのグループで見つけた課題を、活動を通して解決の糸口を探していきます。今期も滋賀県下のフィールドにてユニークな活動を展開しています。

リアル版キザニア作る?子どもたちの創造力全面サポート!

私たち「おうみ子ども未来塾」は、子どもが自主的に自分の未来を創造できる社会を目指し、滋賀県内にリアル版キザニアを作る活動をしています。地域の事業者と連携して子どもが職業体験できる機会を作り、そのような事業者を増やして繋げていけば、本家のキザニアにも負けない体験が提供できると考えました。具体的には、飲食店で調理・配膳を体験するイベントや職業体験に特化したワークショップ型のイベント開催に向けて動いています。イベント情報はまた告知しますので、ぜひ遊びに来てくださいね!



おうみ子ども未来塾

【メンバー】今井幹太、豊田秀樹、木村久美子、大屋久美子、今井由莉

伊香立からスタート!目指すは活気ある滋賀のまちづくり!

「つながる ひろがる ながれをつくる 地域のお宝探し隊」として結集したのが私たちたなぼた家です。今回初めて取り組んだ伊香立での農業体験イベントのプロデュースは、たくさんの“たなぼた”な出来事や出会いや想いがつながり、無事にスタートできました。世代を問わず楽しめる仕掛けを地域に提供していく!目指すは活気ある滋賀のまちづくり!! 私たちがどんな



な場所で、どんな人と想いをつなげることができるのか?! 経験を積み重ね、持続可能でワクワクする活動をこれからも展開していきます。

たなぼた家

【メンバー】青木清美、北脇すみよ、伊東竜成、荒川博志、山本りか、奥野ふじみ

募集

**公益財団法人 淡海文化振興財団
賛助会員募集
クレジット決済でご入金
いただけるようになりました!**

淡海ネットワークセンターでは、当センターの目的に賛同し、事業運営にご協力いただける「賛助会員」を募集しています。年会費は個人1口3,000円、法人1口10,000円です。豊かな社会をめざして温かいご支援ご協力をお願いいたします。なお、従来の入金方法に加えクレジット決済でもご入金いただけるようになりました。ぜひご利用ください。

※当財団への寄付は、税制優遇

(寄付金控除/損金算入)の対象となります。



募集

**『おうみ良うなる!
元気商品プロジェクト』
協力企業等募集中!**

このプロジェクトは、企業等の商品やサービスの売上げの一部を未来ファンドおうみへ寄付していただき、おうみ(滋賀)の地域社会をもっと良くしていくこととするものです。

現在、寄付つき商品(おうみ良うなる! 元気商品)の普及にご協力いただける企業・団体等を募集しています。詳しくは当財団ホームページをご覧ください。

※本プロジェクト参加団体(敬称略)

- 近江通商株式会社「近江里山の薪と炭」
- 株式会社ロハス長浜「和りんごサイダー」
- 一般社団法人 比良里山クラブ「比良ペリラ(Hira Perilla)」
- 有限会社ノリアキ工房
- ボンワック「Bonwaccダイヤ織ディッシュクロス・6重ガーゼフキン」
- 株式会社JINEN「美しいびわ湖石けん全身シャンプー・ヘアリンス」
- 株式会社いのうえ「琵琶湖三珍」
- 有限会社富田酒造「七本鎗」
- 株式会社空兵衛造船所「石けん・おちょこ」

2024年5月現在



編集後記

■最近、「周りに知り合いがなくて不安」「老夫婦だけで住んでいるから何かあったらどうしよう…」という声を聞くことができました。改めて地域のつながりの必要性、大切さを感じました。これからも、人と地域と社会をつなぐ活動をされている団体様を応援して一緒に広げていきたいと思います。(稲葉さゆり)



淡海ネットワークセンターは、県内の市民活動、NPOをサポート・ネットワークしています。

発行日/2024年7月1日 発行所/公益財団法人 淡海文化振興財団
〒520-0801 大津市におの浜1-1-20 ピアザ淡海2階
TEL:077-524-8440 FAX:077-524-8442
https://www.ohmi-net.com E-mail:office@ohmi-net.com
開館日:市民活動ふらっとルーム/火~土曜日(火~金曜日の祝日は休館)
事務所/火~日曜日

淡海ネットワークセンターのHPは右記QRコードでご覧いただけます。セミナーや助成金、イベント情報も掲載しておりますのでぜひご利用ください。



お知らせ **フードドライブ専用ボックス 設置しました。**

センターではフードドライブ専用ボックスをお預かりし常時設置しています。食品ロスの削減と食の支援につながるフードドライブ。余っている食品ひとつが誰かの笑顔につながります。

賞味期限が1か月以上ある缶詰・レトルト食品・お菓子などお時間のある時に当センターにお持ちください。必要とされている方へ届けてくださるNPO法人CASNさんにお渡します。

ぜひご協力をよろしくお願いいたします!!



ご案内 **ふらっとサロン開催します**

2024年度 第1回ふらっとサロンを開催します。内容は、昨年度好評だった「フードドライブを知ろう!」です。なぜ、フードバンクが必要なのか。その実情をお聞きし、自分たちが出来る支援のひとつとして共有しましょう。どうぞ気軽にご参加ください。

【日時】7月30日(火) 13:30~15:00

【場所】ふらっとルーム(淡海ネットワークセンター内ミーティングスペース)

【お話し】谷口久美子さん(NPO法人CASN理事長)

【参加費】無料

【その他】ふらっとサロン開催日から消費期限が1か月以上ある食品等(缶詰・レトルト食品・お菓子等)を一品以上ご持参ください。
※常温保存でき、未開封のものに限ります。

お知らせ **遺贈寄付のご案内**

淡海ネットワークセンターは、2023年4月1日より遺贈寄付の受け入れを開始しました。

おひとりおひとりの“想い”を、より良い地域社会づくりのために行動する志ある市民団体へと、責任をもって確実におつなぎいたします。

遺贈寄付であなたの想いを未来へ届けてみませんか。

詳しくはこちら➡

<https://ohmi-net.com/kifusanjyo/izoukifu/>



Special thanks:小原あずささん

表紙、P2の撮影にご協力いただきました。大津市におの浜で「AZUSA SKIN & WELLNESS CLINIC」を開業。心身ともに健康的で美しい人生を送るライフスタイルを提案し、地域に寄り添い、地域全体が元気になるようなクリニックを目指されています。

●ホームページ <https://www.azusa-clinic.com/>

●Instagram https://www.instagram.com/dr_azusa



この印刷物は大豆油インキを包含した植物油インキを使用しています。